

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
水質科
平成13年3月26日 第51報

植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	45		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	60		
(黄鞭) <i>Chrysaemoeba radians</i>	30		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1200		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	33		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	10		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	400		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	20		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	1		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	145	7.2	17.7
(珪) 珪藻綱	1263	62.5	39.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.0	1.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	560	27.7	36.5
(み) みどり虫藻綱	20	1.0	0.2
(緑) 緑藻綱	2	0.1	4.4
(他) その他のプランクトン	10	0.5	0.0
総細胞数	2020	総体積	9.30E+05
種類数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各網ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Codonella cratera</i>	80

第2優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4~10 μm と小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種

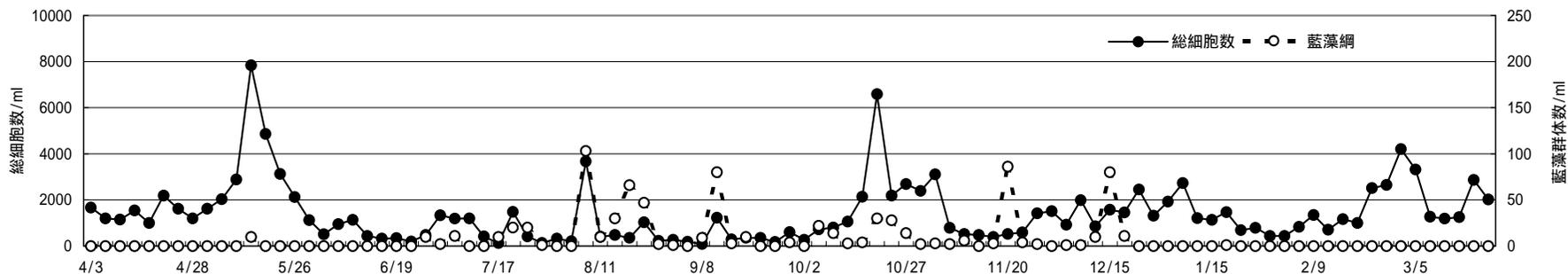


Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント:

植物プランクトンは引きつづきキクロテラゴメラータが多かった。動物プランクトン優占種のコドネラクラテラはこれまでチンチノプスクラテラとして報告してきた種で、世界的にコドネラとされているので今回の報告から変更した。1年間の総細胞数の変動及び藍藻綱の群体数の変動はグラフの様になった。植物プランクトンの中ではリロクシナ、ケラストムムカブリウム、キクロテラゴメラータが増加した時に総細胞数が高くなった。藍藻は少なかつたが8月にオシトリアカラムエが多く見られ、11月には一時アファニゾメノプロスアケアエが増加した。



平成12年度総細胞数と藍藻群体数の変動